

令和7年度 地域連携アクティブスクールの入学者選抜の第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 117

千葉県立市原高等学校 全日制の課程 普通科 園芸科

1 期待する生徒像

自立した社会人となるために、基本的な生活習慣の確立・基礎学力の定着に努力する。また、社会や学校のルールを守り、他者への思いやりを持って行動できる。加えて次のすべてを満たす生徒。

〈普通科〉

- ア 生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に主体性を持ち積極的に取り組む。
- イ 将来地域に貢献する意欲がある。

〈園芸科〉

- ア 生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に主体性を持ち積極的に取り組む。
- イ 農業・自然環境に興味・関心が高く、将来地域に貢献する意欲がある。

2 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 検査	次の検査の結果
①面接	評価者2名の個人面接 検査時間：約10分
②作文	字数：320字以上400字以内 検査時間：30分

3 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔165点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限30点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇の数が0または1つの場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 検査〔280点満点〕

①面接〔200点満点〕

2名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準的には足りない）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを20点、bを14点、cを8点、dを2点とし、2名の評価者の評価（各100点満点）を合計し、得点化する。評価dが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明白である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、わかりやすく適切に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身につけている。
オ 自己PR	これまでの学校外または学校生活において取り組んできたこと または身につけてきたことを、わかりやすい内容で、意欲をもって 伝えている。

②作文〔80点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準的には足りない）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを20点、bを14点、cを8点、dを2点とし、2名の評価者の評価（各40点満点）を合計し、得点化する。評価dが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容	与えられたテーマについて、適切な内容を具体的に述べており、 一貫性がある。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「検査（面接・作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

〈総得点の満点の内訳〉

調査書の得点		検査の得点		総得点
評定	加点	面接	作文	
135点	30点	200点	80点	445点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。